

サワアザミ(キク科)の北海道分布

千歳市 五十嵐 博

はじめに

長年、キク科アザミ属の分布を調査している。サワアザミ:*Cirsium yezoense* (Maxim.) Makino もその中の一つである。サワアザミは秋咲きの草丈1-2.5mになる大型のアザミである。和名のとおり、沢沿いで見か

原(1983)の撮影地は森町である。日高・胆振・松山・渡島分布の記載がある。原(1992)では藻岩山、高橋ほか(2008)では室蘭市本輪西、函館市恵山、札幌市藻岩山などの標本が北海道大学総合博物館に収蔵されている。



図1 サワアザミ 2019.9.18.伊達市

けることが多い。2019年度もサワアザミの新しい産地を確認できた。産地の空白もかなり埋まってきたので北海道分布を報告する。

文献調査

原(1979)では登別、豊浦が産地である。



図2 サワアザミ 2019.9.18.伊達市



図3 白花 2019.9.18.苫小牧市

伊藤ほか(1987)の分布支庁は渡島・松山・胆振・日高の4支庁である。

滝田(2001)の産地は上磯町戸切地川で国土地理院2.5万分の1地形図(以下2.5